平成 25 年 12 月 24 日

恵那市長　可知　義明　様

笠周地域振興計画策定委員会
委員長　平井　一兵

笠周地域振興計画（案）について（答申）

平成 25 年 5 月 8 日付企ま第 2238 号で諮問のありました標記の件について、当委員会で慎重に審議しました結果、別添のとおり取りまとめましたので答申します。

なお、計画の推進に当たっては、委員会の審議過程で出された意見を十分に尊重するとともに、計画の実現に向けて最善の努力をされるよう要望します。

特に、笠周地域における救急体制整備の充実は、住民の切実な願いでありますので、全市的な見直しの中で、公平な救急体制の在り方を検討いただくことを強く要望します。

記

別添

恵那市笠周地域振興計画（案）（振興計画・実施計画・箇所図）

恵那市笠周地域振興計画（案）

笠周地域振興計画策定委員会

INDEX

1.計画の目的・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
2.計画の位置付け・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
3.笠周地域の概況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
4.計画推進の基本的な考え方・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8
5.笠周地域活性化戦略・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9
6.分野別計画・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・10
7.今後の推進体制・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・14
資料編
　実施計画一覧・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・16
　実施箇所図・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・18

１．　計画の目的

恵那市では、平成 16 年の市町村合併後、新市まちづくり計画やその理念を引継いだ総合計画に基づいて新市の基盤づくりを進めてきました。また、市内各地域の振興については、合併特例債や過疎債、社会資本整備総合交付金などの財源を有効活用し、まちづくりを進めてきました。

しかしながら、地域別に見ると市の北部に位置する笠周地域（笠置町、中野方町、飯地町）については、少子高齢化や若者の流出に伴う人口減少など過疎化の問題を抱えているにもかかわらず、地域の課題解決に向けた投資が十分にされてこなかったところです。

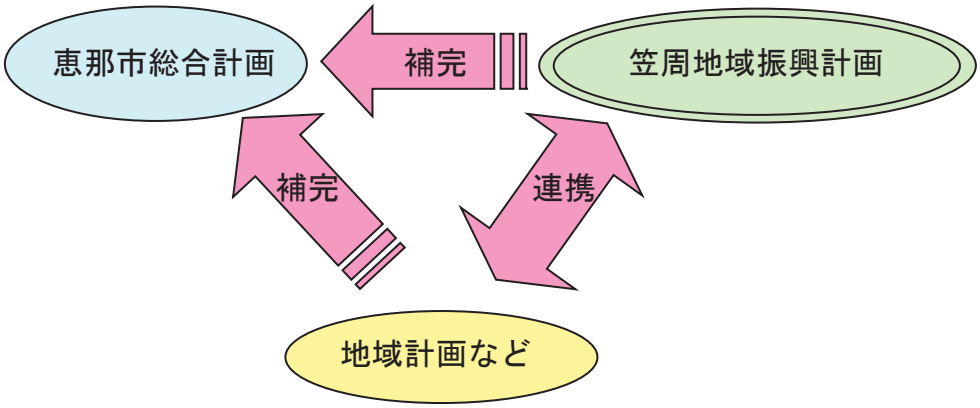
そこで、笠周地域の課題解決による地域振興と地域間の均衡ある発展を目的に笠周地域振興計画を策定し、計画的な事業推進を図ることとします。

２．　計画の位置付け

（1）恵那市総合計画・地域計画との関わり

本計画は、恵那市総合計画の補完的役割と位置付け、笠周地域の振興を具体的に推進するため、市民と行政の協働という形態を踏まえた計画とします。また、より効果的に計画を推進していくため、地区別の地域計画などとの連携を図ります。

本計画の事業を推進するに当たり、事業効果の向上を図るため必要な事業については、総合計画の実施計画に位置付けて、地域振興策を推進します。また、平成 28 年度以降の事業については、次期総合計画に反映させて進行管理を行っていきます。

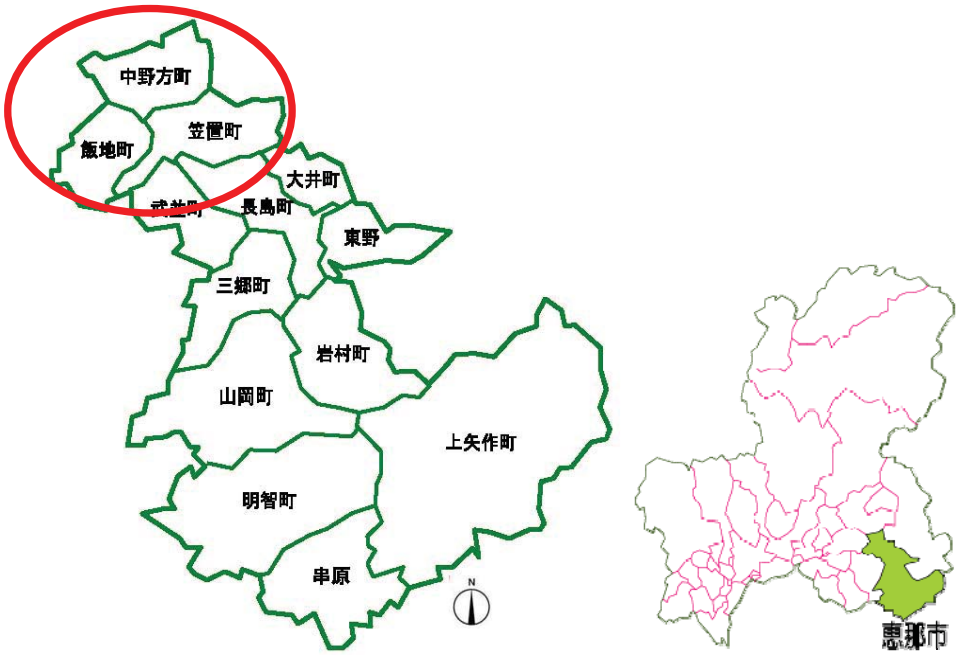


(2) 計画の期間

本計画の期間は、平成 26 年度から平成 31 年度までの 6 年間とします。

(3) 計画対象地域

本計画の対象地域は、過疎地域自立促進特別措置法第 32 条で定められている過疎地域の人口要件に該当する笠置町、中野方町、飯地町の笠置山周辺 3 町を笠周地域とします。



■地区別面積　　単位：k ㎡

	笠置町	中野方町	飯地町	笠周合計	恵那市全体
面積	25.54	23.64	19.27	68.45	504.19
構成比	5.07	4.69	3.83	13.59	100.00

３． 笠周地域の概況

（1） 笠置町の現況

笠置町は、市の北西部木曽川のほとりに位置し、東部には木曽川水系で最初に造られた大井ダム・西部には紅葉が水面に映える笠置ダムがあり、豊かな自然環境に恵まれています。

笠置山の大自然の中で森林、岩石などの資源に恵まれています。天然の岩石を利用した「ボルダリング」でまちの活性化を図ろうと、数々のイベントを企画し、全国各地からクライマーが集まり、好評を博しています。

また、ユズの産地でもあり、特産品の開発に力を入れています。

（2） 中野方町の現況

中野方町は市の北部、笠置山のふもとに位置し、豊かな自然に恵まれています。なかでも、坂折地区の棚田は、農林水産省の「日本の棚田百選」に選ばれています。棚田コンサートや、炭焼き塾、写真コンテスト、ブランド米の生産など、棚田を中心とした里山文化の普及活動が全国から注目されています。

また、ボランティアが支える移送サービス「おきもり」は、みんなで支えあう文化を今に伝えながら、地域を挙げて「まめ」で元気に暮らせるまちづくりに取り組んでいます。

（3） 飯地町の現況

飯地町は市の北西部にあり、平均的な標高が 600 メートルほどの高原エリアです。眼下に木曽川を臨み、鮮やかなＶ字谷と、笠置・丸山の二つのダムは大変美しく、周囲には文化財に指定されている数々の史跡があります。昭和 29 年

建造の旧飯地事務所を「民俗資料館」として活用しています。また、芝居小屋「五毛座」は、地歌舞伎などの古くから伝わる貴重な文化遺産の保存とともに、地区内外の見物客との交流の場として活用されています。

平成 16 年度に、NPO 法人「まんさく」を立ち上げ、高齢化を迎える中で高齢者が気軽に利用できる認知症予防などの各種活動を展開しています。また、高齢者等の移動手段の一つとして平成 24 年 11 月より移送サービスの試行運行を始め、平成 25 年 4 月より本格運行しています。

近年では地域の特産品として、白いトウモロコシのピュアホワイトの栽培に取り組んでいます。

（4）笠周地域の課題

笠周地域は、笠置山や秋葉山に代表される広大な森林とその裾野を流れる清らかな木曽川や中野方川など、自然環境や地域資源に恵まれており、各地域における暮らしも、これまでの歴史・文化などから育まれた特色のある風土が息づいています。

しかし、全国的な課題である少子高齢化の問題は、本市においても例外ではなく、定住支援や子育て支援、高齢者福祉の取り組みを推進しているものの、今後もますます進行することが予想されます。特に笠周地域では、戦後からの高度経済成長期を通じて、就労形態の変化や都市部への人口移動に伴い、少子高齢化、人口減少が進んでいます。このため、農林業の後継者不足による山林・田畑の荒廃化、交通弱者の増加、地域コミュニティの崩壊などが危惧されています。

観光においては、笠置山のペトログラフやヒカリゴケ、望郷の森、ひとつばたご、甌穴、笠置峡、坂折棚田、黒瀬街道、飯地高原など、天然記念物や史跡に恵まれていますが、資源を十分に活かしきれておらず、観光のＰＲや拠点となる施設の整備が必要とされています。

産業振興においては、製造業事業所数、商業事業所数の推移をみると、どちらも減少しており、既存の企業の保護と新しい産業の構築が求められています。グリーンピア恵那跡地を利用した栗園造成による産業振興や農産物の合同出荷などによる雇用の場の創出と産業の活性化、観光客の増加が必要とされています。

生活基盤においては、インフラの整備が遅れており、幹線道路が災害などで交通不能となった場合、陸の孤島となる可能性があります。防災、緊急体制、観光、文化活動など、住民の生活全てにおいて、幹線道路のバイパス整備が求められています。

福祉においては、少子高齢化に伴う高齢者世帯や独居世帯の増加により、高齢者が安心して地域で生活するための支援体制や介護施設の誘致が求められています。

■人口の推移

単位：人

	H2 年	H7 年	H12 年	H17 年	H22 年
笠置町	1,762	1,682	1,573	1,491	1,366
中野方町	2,148	2,021	1,895	1,777	1,689
飯地町	1,017	953	858	773	733
合計	4,927	4,656	4,326	4,041	3,788

資料：国勢調査

■人口の推移（推計）

単位：人

	H27 年	H32 年	H37 年	H42 年	H42-H22
笠置町	1,340	1,250	1,150	1,060	-306
中野方町	1,580	1,480	1,370	1,260	-429
飯地町	670	620	570	520	-213
合計	3,590	3,350	3,090	2,840	-948

資料：平成 20 年度人口推計調査

■高齢化率の推移

単位：%

	H2 年	H7 年	H12 年	H17 年	H22 年
笠置町	21.3	26.8	30.0	33.1	35.7
中野方町	19.3	24.0	28.2	30.7	34.0
飯地町	21.8	26.4	31.6	35.3	38.7
合計	20.5	25.5	29.5	32.5	35.5

資料：国勢調査

■高齢化率の推移（推計）

単位：%

	H27 年	H32 年	H37 年	H42 年	H42-H22
笠置町	40.5	43.9	46.7	47.2	11.5
中野方町	37.6	42.1	43.6	45.3	11.3
飯地町	41.6	46.1	46.0	46.3	7.6
合計	39.5	43.4	45.2	46.2	10.7

資料：平成 20 年度人口推計調査

■世帯の推移

単位：世帯

	H2 年	H7 年	H12 年	H17 年	H22 年
笠置町	418	414	413	421	416
中野方町	491	480	478	474	477
飯地町	243	236	233	216	218
合計	1,152	1,130	1,124	1,111	1,111

資料：国勢調査

■製造業事業所数の推移

	H15 年	H16 年	H18 年	H20 年	H22 年
笠置町	3	1	1	2	1
中野方町	16	13	10	12	9
飯地町	4	4	4	4	4
合計	23	18	15	18	14

資料：工業統計調査

■商業事業所数の推移

	H6 年	H9 年	H11 年	H14 年	H19 年
笠置町	9	7	12	10	11
中野方町	23	21	21	17	18
飯地町	17	16	14	13	9
合計	49	44	47	40	38

資料：商業統計調査

■農家数の推移

	H2 年	H7 年	H12 年	H17 年	H22 年
笠置町	312	299	181	146	134
中野方町	315	302	192	138	134
飯地町	165	150	72	57	57
合計	792	751	445	341	325

資料：農林業センサス

４． 計画推進の基本的な考え方

（1） 地域振興の視点

豊かな自然や文化などの地域資源を活用した特産品の開発や森林整備、観光地としての魅力の向上などにより、雇用の場の創出や交流人口の増加など、地域経済の活性化を目指します。また、住民自らが参画し、行政と住民が協働で事業を進めることにより、地域の実情に合った地域振興を進めます。

（2） 生活環境向上の視点

人口減少・少子高齢化が進行する現状を踏まえ、高齢者の安全・安心の確保に努めるとともに、若者が魅力を感じる快適な生活環境づくりを進めます。

（3） 持続性の視点

施設整備に当たっては、初期建設費とともに維持管理経費についても精査し、長期的・効率的な持続可能性について検討します。

○策定委員によるワークショップ

５．　笠周地域活性化戦略
～美しい山「笠置山」でつながる地域振興～

地域の課題を解決し、振興を図るためには、今ある地域の魅力を磨き上げるとともに、それぞれの魅力を有機的に結びつけ、笠周地域全体の魅力にブラッシュアップすることが不可欠です。

笠周地域の中心には、豊かな自然の宝庫である「笠置山」があり、笠置山の魅力と裾野に広がる里山の魅力を最大限に引き出すことにより、笠周地域全体の地域振興を目指します。

まず、笠置山の入口である平成27年開通予定の新東雲橋付近に道の駅を設置し、観光の拠点とするとともに、不動の滝農産物直売所と連携して地元の物産品の合同出荷を目指します。次に案内看板の設置や山頂の物見岩の安全対策、望郷の森の活用、裾野に広がる坂折棚田のなごみの家を体験交流施設として整備することにより、観光地としての魅力を引き出します。また、国内屈指のボルダリングエリアの利用者や自然愛好家、観光客に対する休憩、宿泊施設として、飯地高原自然テント村の整備を行います。さらに、グリーンピア恵那跡地に整備している栗園について、笠周地域全体で取り組み、経営の安定と観光農園化、雇用の場の創出を目指します。

これらの取り組みにより魅力が高まった地域資源をつなぎ、相乗的な効果を得るため、道路ネットワークの整備を行います。特に新東雲橋から笠置コミュニティセンターを経由して栗園までをつなぐ北ルートと、栗園と飯地高原自然テント村など「高原のまち」をつなぐ市道飯地中野方線と勢井後橋の整備を行い、地域資源を周遊できるようにします。また、地域振興だけでなく、災害時のバイパスや生活道路、地域間道路として利用することにより、地域住民の生活環境の向上を目指します。

こうした基盤の上に立って、自然体感ツアーの商品化や笠周地域独自の商品開発、農作物等のネット販売、軽トラ市の開催、企業や研究所・老人介護支援施設の誘致、クラインガルテン（滞在体験型宿泊施設）の整備検討、3町合同の婚活イベントなどを実施することにより地域振興と地域経済の活性化を進め、笠周地域における人口減少の歯止めを図ります。

さらに、これらの振興策を強力に推進し、活性化を図るためには、笠周地域を構成する笠置町、中野方町、飯地町が一体となって事業実施に取り組むことが重要で、本計画の推進を契機として、３町連合笠周地域のさらなる連携強化を図ります。

６． 分野別計画

（1） 観光

観光資源を再発見し、観光地としての魅力を高めます。また、観光地を繋ぐ道路の整備と拠点となる駐車場（道の駅）整備や施設の改修を行い、観光ルートを構築することにより、入り込み客数を増加させます。

3 町合同で実施する取り組み

○笠置山整備事業
○棚田のなごみの家（体験交流施設）の整備
○飯地高原自然テント村の整備
○五毛座のトイレ、駐車場兼農産物集荷・販売広場の整備
○笠周地域観光マップ作成
○3 町統一の行事予定表の作成
○自然体感ツアーの商品化

地域計画で実施を検討する事業

・望郷の森の整備（宿泊施設・特産品販売所・駐車場）

総合計画実施計画に位置付けられている事業

・笠置ひとつばたご自生地保存整備事業
・重要文化的景観保護推進事業（坂折棚田）

○笠置山なんじゃもんじゃウォーキング

（2）産業振興

グリーンピア恵那跡地の栗園の整備により、産業振興を図ります。また、栗園を観光農園化することにより観光客の増加を目指します。

3町の農作物を不動滝販売所へ集荷する仕組みを構築し、軌道に乗れば新東雲橋の道の駅に出荷できるよう地域経済の活性化を目指します。

3町合同で実施する取り組み

○グリーンピア恵那跡地観光農園整備運営事業
○新東雲橋付近道の駅整備事業（駐車場整備）
○新東雲橋付近農産物直売所整備事業
○笠周地域企業・研究所誘致事業
○ふるさと活性化協力隊員の配置
○アドバイザー派遣事業（ＮＰＯ、地縁団体設立）
○軽トラ市の開催（運営主団体の創設）
○農産物の笠周地域合同出荷
○笠周地域ウェブサイト作成事業
○農産物等のネット販売事業
○笠周地域独自の商品開発
○クラインガルテン（滞在体験型宿泊施設）の整備検討

地域計画で実施を検討する事業

・地籍調査事業の早期実施
・整備済圃場の再整備
・既存企業への支援対策（新商品開発およびＰＲ費用の補助）
・耕作放棄地の対策（特産品の開発など）
・エコ発電の導入

総合計画実施計画に位置付けられている事業

・林地残材有効利用事業
・一般造林事業（間伐事業・間伐のための作業路開設補助事業）
・県営中山間地域総合整備事業

○グリーンピア恵那跡地の栗園造成地

（3）生活基盤（道路・福祉など）

笠周地域は、幹線道路は整備されていますが、主となる道路が１つであるため、災害時に利用できるバイパス道路整備を進めます。また、各地域の観光地を周遊するための道路整備を進めます。

地域福祉の向上を目指すため、老人介護施設の建設誘致を行います。また、ドクターカーやヘリポートの整備を行い、緊急時に迅速な対応ができるようにします。

3 町合同で実施する取り組み

○市道飯地中野方線・勢井後橋の整備
○市道笠置線の整備
○寺洞林道と笠置山林道の整備
○川向林道の整備
○市道笠置町 37 号線の整備
○市道寺田石山線の整備
○市道岩波奥屋線の整備
○県道中野方七宗線、県道毛呂窪姫栗線、県道恵那八百津線の改良要望
○県道恵那白川線（不動滝～加須里）バイパス整備の要望
○老人介護支援施設の建設誘致
○3 町合同の婚活イベントの開催

地域計画で実施を検討する事業

・県道恵那白川線（姫栗～河合）歩道整備の要望

・丸山バイパス整備の要望

・生活道路の整備

・林道の整備

・笠置振興事務所とコミュニティセンターの統合

・旧中野方保育園の活用

・中野方グラウンドのトイレの水洗化

・定住住宅の建設整備

・移動支援事業

・地域見守り支援事業

・飯地町ポケットパークの整備

総合計画実施計画に位置付けられている事業

・ヘリポート整備事業

・（仮）ドクターカー運営事業

・消防団器具庫改修整備事業

・消防団拠点施設整備事業

・消防団救急車両整備事業

・消防水利整備事業（防火水槽・消火栓）

・買い物支援事業

・中野方保育園の改築事業

・飯地保育園の大規模改修事業

・林道大沢線の開設

・市道笠置町 69 号線の整備

・市道飯地町 58 号線の整備

○建設中の新東雲橋

※道路の事業名は現道路名で記載しています。

７．　今後の推進体制

次年度からは笠周地域振興計画策定委員会を笠周地域振興計画推進委員会と改め、事業の進捗状況を進行管理します。

計画の中には事業を実施するための実行組織を立ち上げる必要があり、計画策定後の取り組みが重要となります。また、計画期間が 6 年間と長いため、その間に事業の必要性や重要度が変わる可能性があります。事業の実施前に事業内容の詳細について地域と市が相談し、実行組織の組織状況や事業の必要性と重要度を再確認する場として、笠周地域振興計画推進委員会を設置します。

笠周地域振興計画策定委員会
計画策定（H25）

→

笠周地域振興計画推進委員会
進行管理（H26-31）

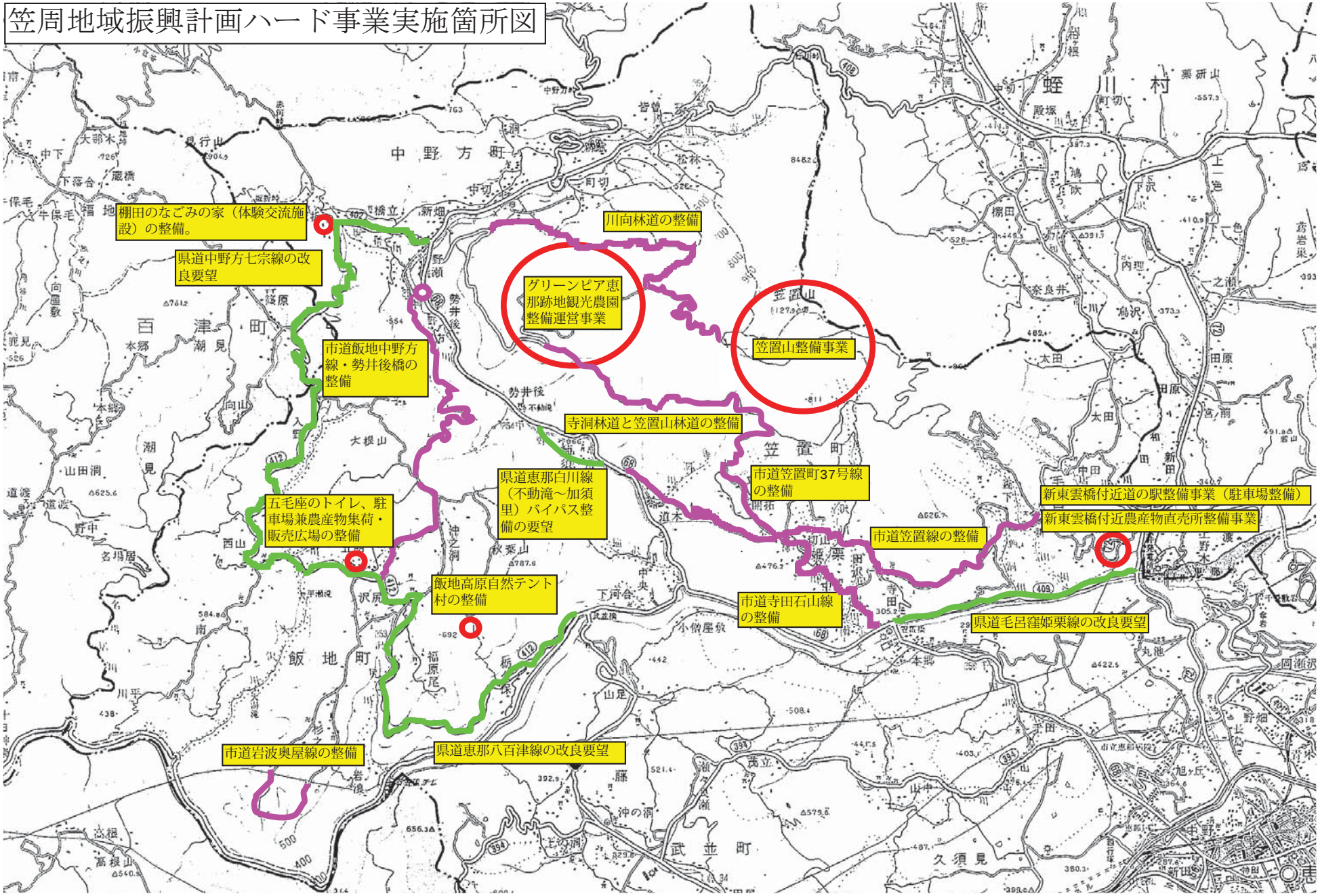
○策定委員による現地視察

笠周地域振興計画実施計画一覧（3町合同で実施する取り組み）

テーマ	事業名（内容）	整備手法など	種別	事業主体			実施年度						事業費（千円）			
				整備	運営		H26	H27	H28	H29	H30	H31	合計	国・県	起債	一般財源
観光	笠置山整備事業	誘導サイン、案内看板、物見岩周辺整備、散策コース・トレイルランニングコース・自転車トライアルコース整備など。	ハード	市	地域	地元管理	3,000	3,000	2,000	2,000	2,000	2,000	**14,000**	0	0	14,000
	棚田のなごみの家(体験交流施設)の整備	体験交流施設として整備。 地元団体に補助金を交付。 体験交流のソフト事業を展開することが必須。	ハード	地域	地域	整備補助		39,000					**39,000**	19,500	0	19,500
	飯地高原自然テント村の整備	H27コテージ5棟。 H28コテージ5棟・管理棟修繕。 地元団体に補助金を交付。	ハード	地域	地域	整備補助		6,750	10,000				**16,750**	0	0	16,750
	五毛座のトイレ、駐車場兼農産物集荷・販売広場の整備	五毛座に歌舞伎演者兼農産物集荷・販売広場用のトイレを整備。 五毛座に駐車場兼農産物集荷・販売広場を整備。 地元団体に補助金を交付。	ハード	地域	地域	整備補助		15,000					**15,000**	0	0	15,000
	笠周地域観光マップ作成	現在作成中の3町合同の観光マップの増刷など。 観光協会に補助金を交付。	ソフト	－	地域	運営支援	○	○	○	○	○	○				
	3町統一の行事予定表の作成	地域、振興事務所、ふるさと活性化協力隊員が協働で取り組む。	ソフト	－	地域	運営支援	○	○	○	○	○	○				
	自然体感ツアーの商品化	地域、振興事務所、ふるさと活性化協力隊員が協働で取り組む。	ソフト	－	地域	運営支援	○	○	○	○	○	○				
産業振興	グリーンピア恵那跡地観光農園整備運営事業	H30トイレの設置。 H31作業用のレール、運搬車、作業車などの整備。 観光栗園・その付帯施設等を維持管理・運営する組織が必須。	ハード	地域	地域	整備補助					5,000	30,000	**35,000**	0	0	35,000
	新東雲橋付近道の駅整備事業（駐車場整備）	軽トラ市を開催するための駐車場・トイレの整備。 維持管理費は地元負担。 運営組織の確立が必須。	ハード	市	地域	指定管理			200,000	130,000			**330,000**	0	313,500	16,500
	新東雲橋付近農産物直売所整備事業	県営中山間地域総合整備事業として県と調整する。 維持管理費は地元負担。 運営組織の確立が必須。 []は市が負担する事業費。	ハード	県	地域	指定管理					55,000 [8, 250]	55,000 [8, 250]	**110,000** **[16, 500]**	93,500	15,600	900
	笠周地域企業・研究所誘致事業	企業誘致適地調査により、笠周地域に企業誘致適地があれば積極的に誘致を進める。	ソフト	－	市	誘致	○	○	○	○	○	○				
	ふるさと活性化協力隊員の配置	ふるさと活性化協力隊員を各地域に配置し、笠周地域振興計画のソフト事業を推進する。	ソフト	－	市	隊員配置	○	○	○	○	○	○				
	アドバイザー派遣事業（NPO、地縁団体設立）	NPO、地縁団体の設立の相談。	ソフト	－	市	設立支援	○	○	○	○	○	○				
	軽トラ市の開催（運営主団体の創設）	地域、振興事務所、ふるさと活性化協力隊員が協働で取り組む。	ソフト	－	地域	運営支援	○	○	○	○	○	○				
	農産物の笠周地域合同出荷	地域、振興事務所、ふるさと活性化協力隊員が協働で取り組む。	ソフト	－	地域	運営支援	○	○	○	○	○	○				
	笠周地域ウェブサイト作成事業	地域、振興事務所、ふるさと活性化協力隊員が協働で取り組む。	ソフト	－	地域	運営支援	○	○	○	○	○	○				
	農産物等のネット販売事業	地域、振興事務所、ふるさと活性化協力隊員が協働で取り組む。	ソフト	－	地域	運営支援	○	○	○	○	○	○				
	笠周地域独自の商品開発	地域、振興事務所、ふるさと活性化協力隊員が協働で取り組む。	ソフト	－	地域	運営支援	○	○	○	○	○	○				
	クラインガルテン（滞在体験型宿泊施設）の整備検討	地域、振興事務所、ふるさと活性化協力隊員が協働で取り組む。	ソフト	－	地域	運営支援	○	○	○	○	○	○				

テーマ	事業名（内容）	整備手法など	種別	事業主体			実施年度						事業費（千円）			
				整備	運営		H26	H27	H28	H29	H30	H31	合計	国・県	起債	一般財源
生活基盤（道路・福祉など）	市道飯地中野方線・勢井後橋の整備	県営一般農道整備事業（負担区分　国50%、県25%、市25%）で整備。 H26に市単独で調査設計を行い、県と整備内容を調整する。	ハード	県	市	道路等	6,000		○	○	○	○	**6,000** +整備費用	－	－	6,000
	市道笠置線の整備	県営農道施設強化対策事業（負担区分　国50%、県25%、市25%）で整備。 線形・視距の改良　2工区　L＝950m []は市が負担する事業費。	ハード	県	市	道路等			10,000 [2,500]	37,000 [9,250]	85,000 [21,250]	88,000 [22,000]	**220,000** **[55,000]**	165,000	52,200	2,800
	寺洞林道と笠置山林道の整備	局部改良11ヵ所	ハード	市	市	道路等		10,000	10,000	10,000			**30,000**	0	28,500	1,500
	川向林道の整備	局部改良6ヵ所　舗装修繕L＝2,000m　A＝9,000㎡	ハード	市	市	道路等		18,000	13,000	13,000			**44,000**	0	41,800	2,200
	市道笠置町37号線の整備	5m未満を5mへ拡幅　L＝710m	ハード	市	市	道路等	13,500	21,500	15,000				**50,000**	27,500	21,300	1,200
	市道寺田石山線の整備	2車線改良　L＝890m 基点部　L＝170mと橋梁部20mは、歩道設置について、張り出し構造等技術的に検討する。	ハード	市	市	道路等			10,000	32,000	46,000	52,000	**140,000**	77,000	59,800	3,200
	市道岩波奥屋線の整備	5mに拡幅　L＝550m　4m改良済み区間は不施工。	ハード	市	市	道路等		9,000	21,000	25,000	25,000	30,000	**110,000**	60,500	47,000	2,500
	県道中野方七宗線、県道毛呂窪姫栗線、県道恵那八百津線の改良要望	県要望	ハード	県	県	要望										
	県道恵那白川線（不動滝～加須里）バイパス整備の要望	県要望	ハード	県	県	要望										
	老人介護支援施設の建設誘致	第5期（H24～H26）介護保険事業計画において、平成26年度恵那北部圏域（笠置、中野方、飯地）において小規模多機能型居宅介護施設整備を計画している。	ソフト	－	市	誘致	○									
	3町合同の婚活イベントの開催	地域、振興事務所、ふるさと活性化協力隊員が協働で取り組む。	ソフト	－	地域	運営支援	○	○	○	○	○	○				
合計							22,500	122,250	291,000	249,000	218,000	257,000	**1,159,750**	443,000	579,700	137,050

※ハード事業は事業費、ソフト事業は○を掲載することにより実施年度を示しています。

※道路の事業名は現道路名で記載しています。

笠周地域振興計画ハード事業実施箇所図